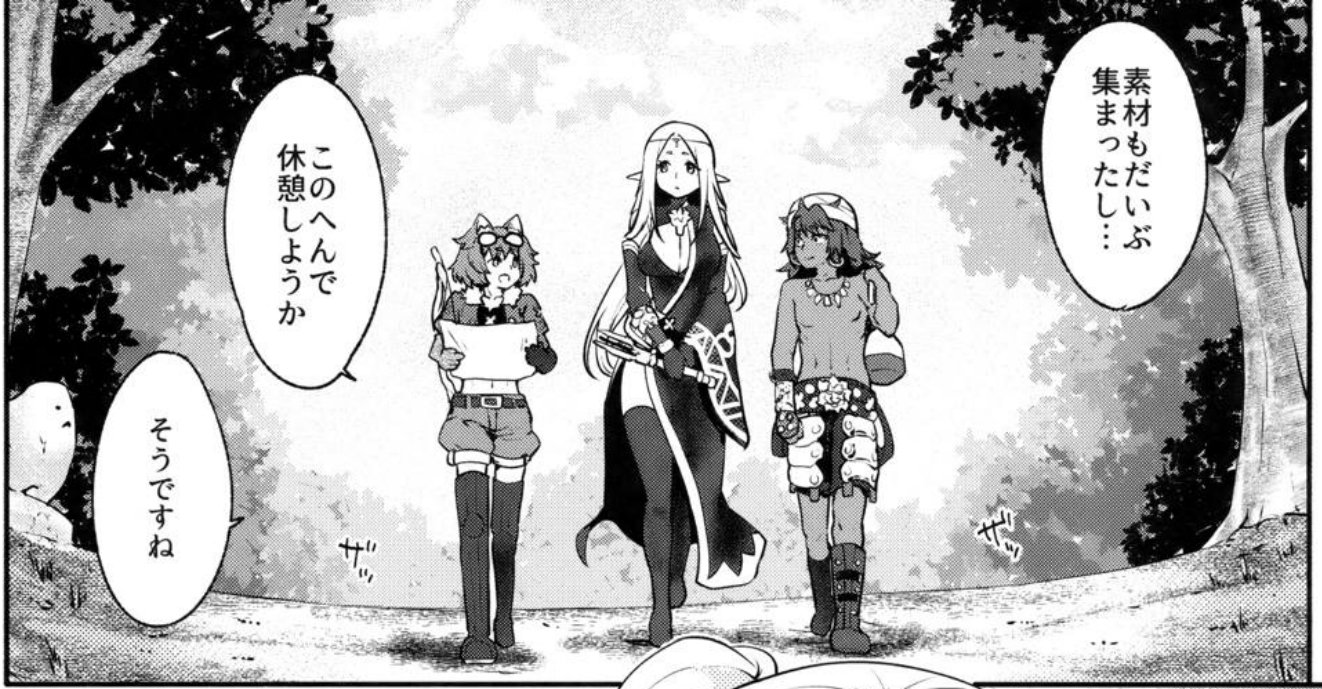




はじめての
せかいじゅ
EXTRA
LOVE
POTION

ADULT ONLY
R-18



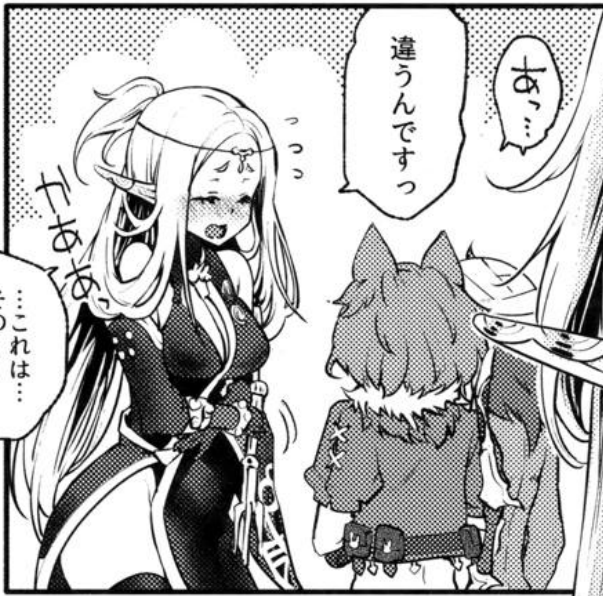
素材もだいたい
集まったし！

このへんで
休憩しようか

そうですね

ザッ

ザッ



違うんですっ

おっ...

っっっ

たああ

...これは...
その...!!



決まりっ！

近くに
火起こし場
あるから
早速行こう！

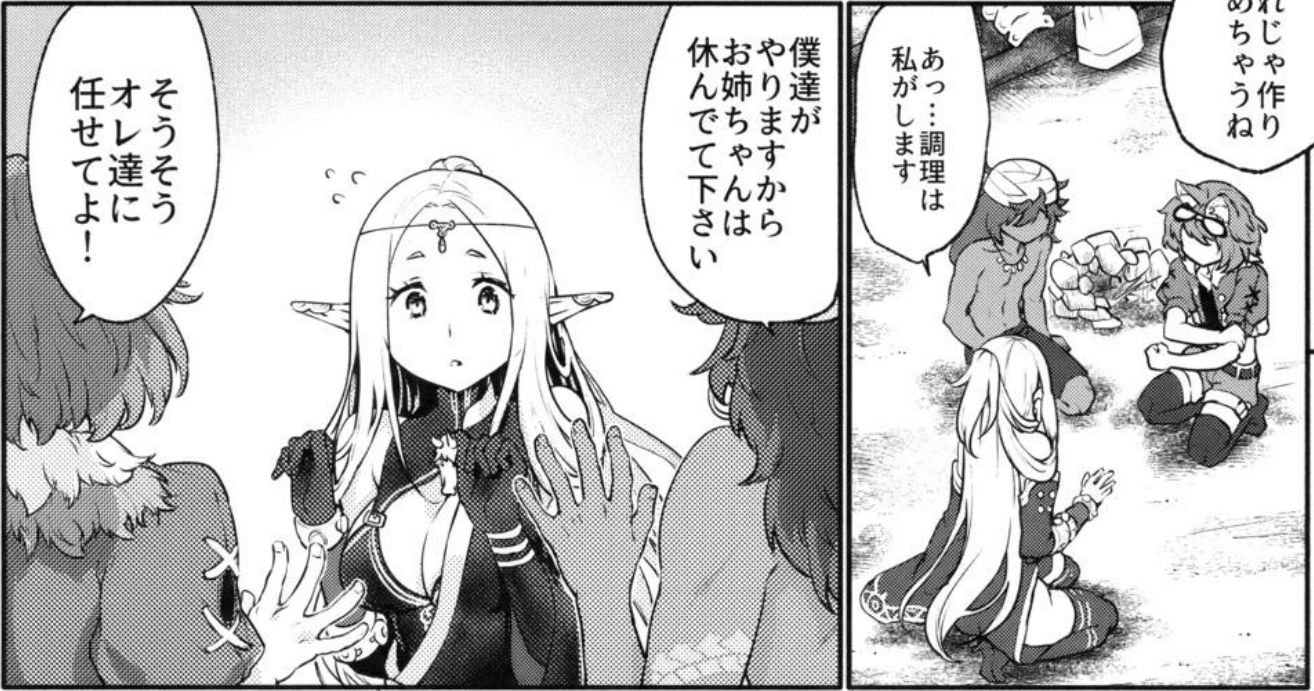
カチンカチン

それじゃ作り
始めちゃうね

あっ…調理は
私がします

僕達が
やりますから
お姉ちゃん
は休んでて
下さい

そうそう
オレ達に
任せてよ!



…はい…

それじゃあ
お願いします

よし!!



ああそうだ
お姉さん

ゆっくりしたいから
念のため
インビブル
かけておいて

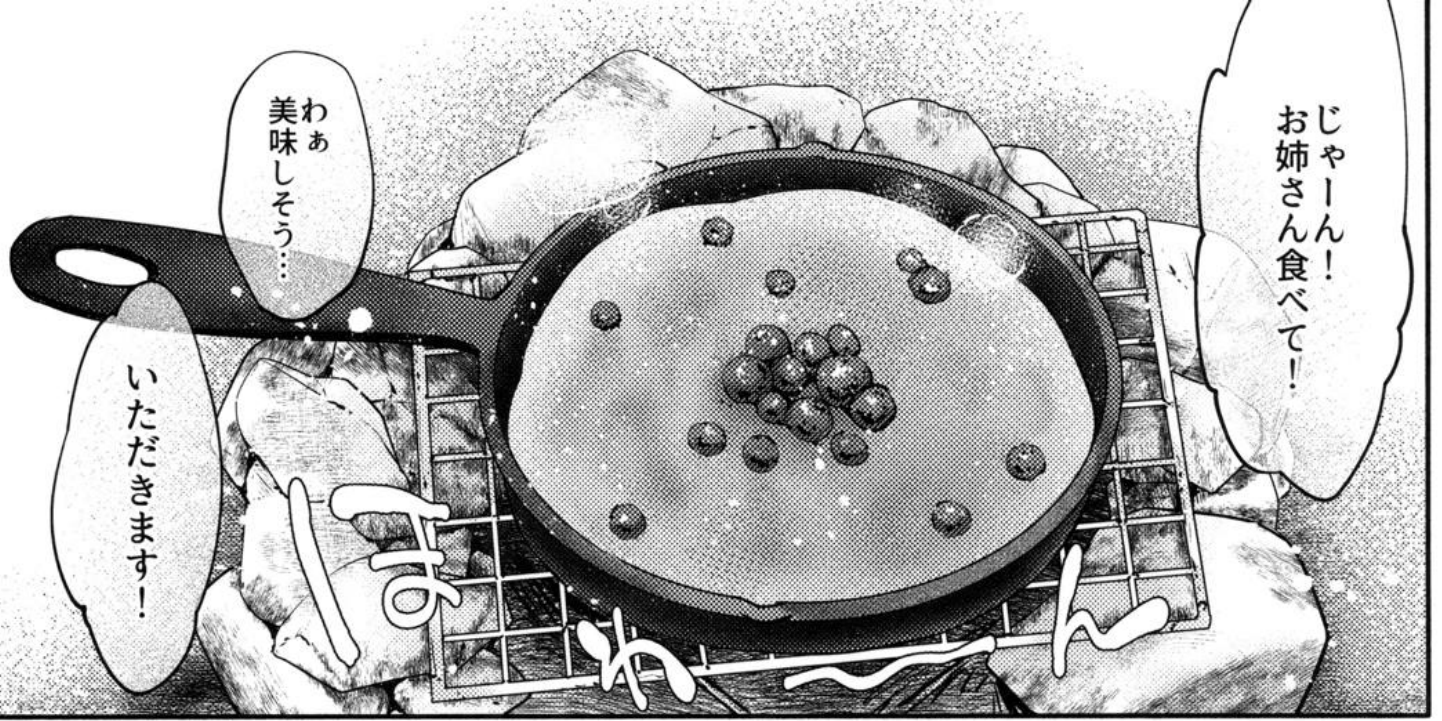
少し
心配だけど…

ゆかり
まじり
ました

うぬ
スレッ
スレッ

こんどは
楽しん
だろ?





じゃーん!
お姉さん食べて!

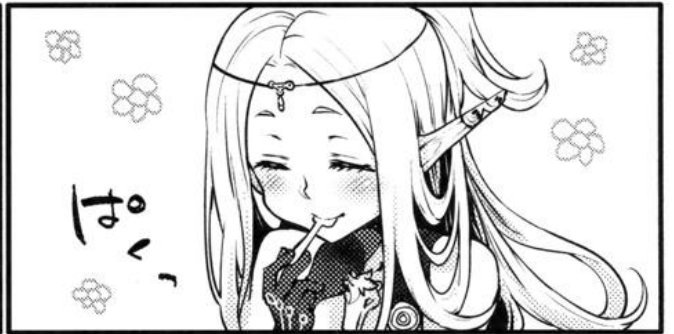
わあ
美味しそう...

いただきます!

おん
ん
ん



ん
ん
ん



はっ



不味い?
食べられない?

変わった
味が...

なんだか...
少し

どっ...



リーダー達は
どんな調子かな

オレ達より早く
採取終わらせるかもよ

せつかく
生懸命作って
くれたんだから...



あーん



良かった

いえ
そうでは
うけ...

たくさん
食べてね!



あれ？
どうしたの
お姉さん？

身体が…
変で…



まっ…
待って…
下さい…

…それじゃ
行きましょうか



…なにか仕込んで…

良いモノ
手に入れたから
使ってみたら

そっか…
すごい効果
なんだね



どう変
なんです？

なんだか…
熱くて…



媚薬…って
言うんだって



っ…!

びや…く…

うん発情して
気持ちよくなる
ことしか
考えられなく
なるんだよ

感度も普段とは
比べ物に
ならない位
上がるんだって

あっ安心してね
ちゃんと鎮めて
あげるから



お姉ちゃん!

共犯…

だったの…?

ごめんなさい…

でも…僕
どうしても…



イヤッ…
放して!

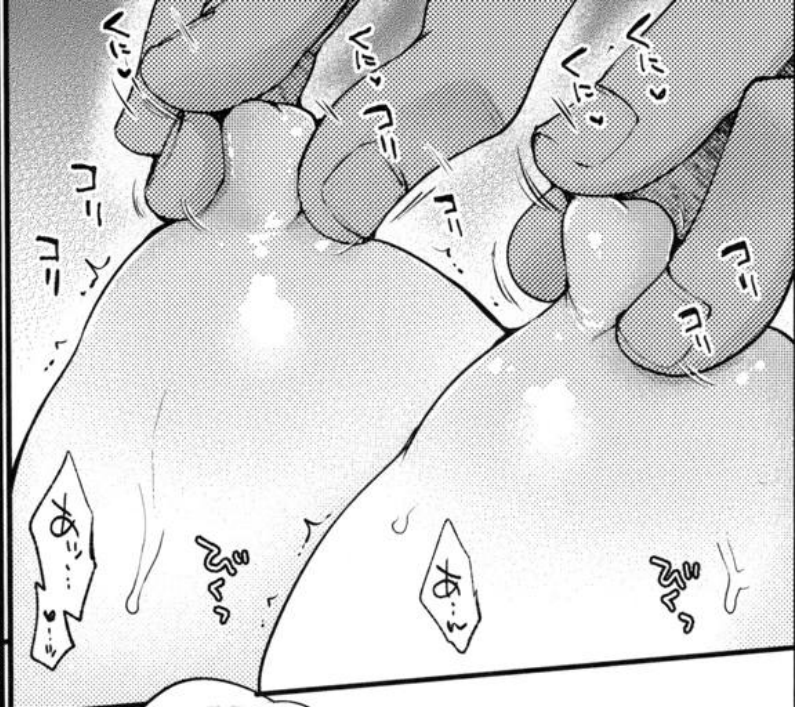


おっぱい
熱くなってる…!





乳首こんなに硬くなつて…



服越しでもわかるくらい
おまんこヒクヒクしてるよ
イキそうなんだね



だめ…乳首
熱いの…!



せっかくだから
オレもお姉さん
あげたいなあ…

そうだ



駄目
イツちやう…!

服で吸いきれない
くらいだよ

もう
トロトロ

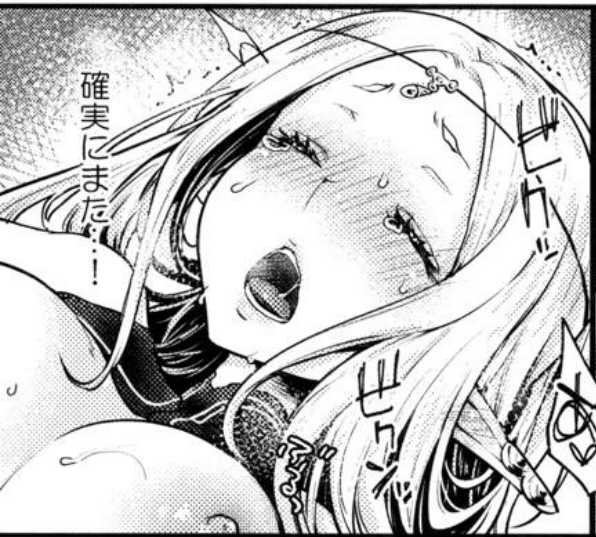
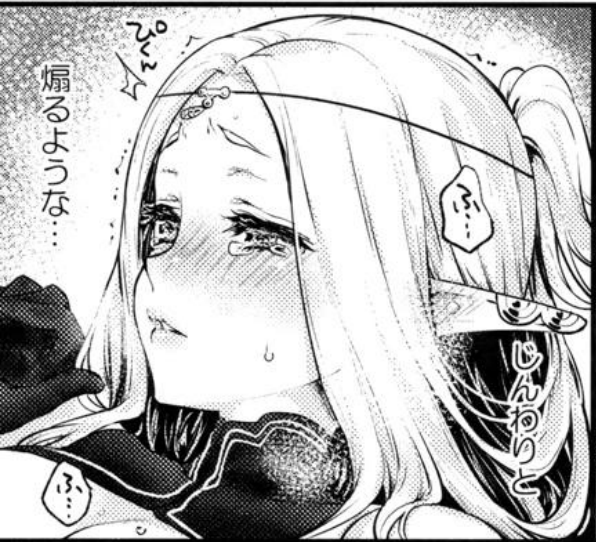


大丈夫
優しくして
あげるから

まって…今…
感じやすくて
つらいから…

もっと続けて
あげるからね

まだ満足
できないでしょ?





でも駄目だよ

またイキそうになってる



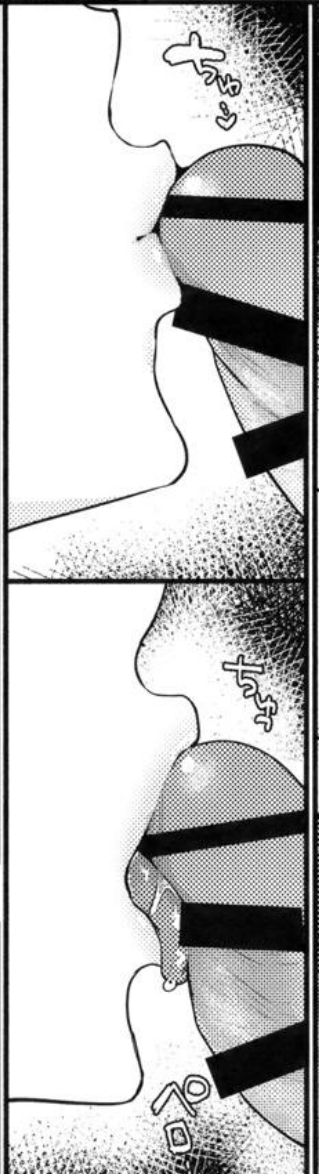
ほら

オレにもしてよ



舐めてるだけで
欲望に飲まれて
気が触れそう

理性を手放さない
ようにしないと...



は...

早く鎮めない...





うねってて
指が勝手に
奥に入ってる...

こっちの方も
吸い付いてくる...

弱いとこを
擦りつけてる...



あつ...もう
出ちゃった...

ここが
気持ちいい
ですか？

駄目...
おかしく
なるっ！

ああ...♡

いやっ！
変なの！

身体が
こんなツッ
違うのに……！

薬が効くと
感じすぎると
軽い混乱状態に
なるんだって

でもお姉ちゃん
は気持ちいい
ですよね？

待ってえ……

違うの……

私……！

こんなこと
したいわけじゃ……

奥の方まで
こんなにドロドロに
なってるのに……？

凄熱く
なってる……
挿れたい
気持ちない

お姉ちゃん
僕に跨って



こっちにも
欲しいですね



…それで

おまんこに
擦りつけて
挿れやすく
して下さい…

おちんちん
硬くて熱い…



柔らかい…

な濡こ
んねん
ててな
…いる



ひびき…



おまんこ…

お姉さんすっごい
チンコ欲しそうな
顔してるよ



そこ！
駄目なところ…
おまんこに
響いちやう…

どんどん
溢れてきて
凄いいことに
なってる…







待ってください...
今... 動くと...



早く!
早く!



進みだした子宮が
突かれて...



お姉ちゃん来
ちゃないと...



あ...!

お姉さん...!



仕方ないなあ



お姉さんマゾだから
今のスリルが
たまらないんだよね?



ちょっと小突いた
だけなのに...



[Empty rectangular box]





きたあ……!

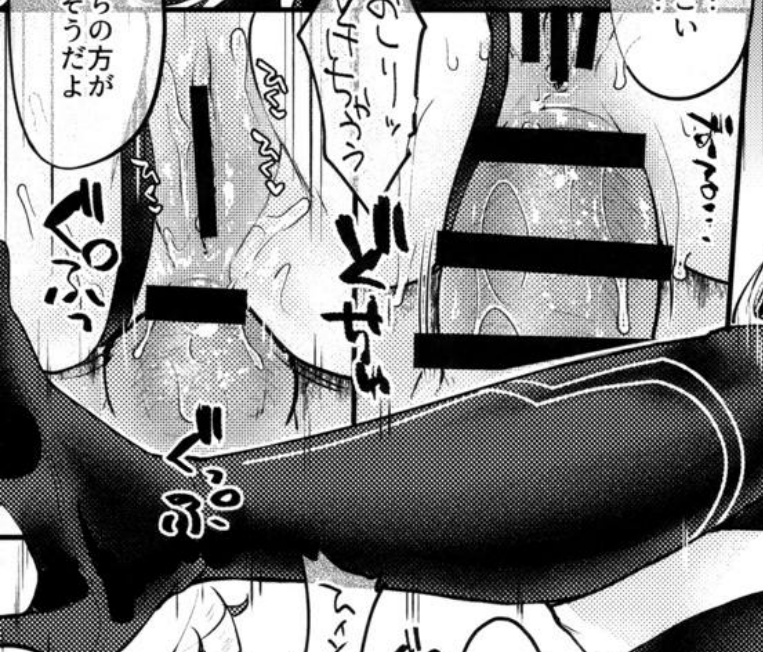
こっちの方が
溶けそうだよ

すあ……
熱さ……



お姉さんか
動けなくても

セリアの種族の
力なら……



……あ……



お姉ちゃん……
気持ち
よわなやう……



こんな
気持ちい
の……

僕も
挿れるよ…

無理い…おちんちん
一緒に挿れられたら
我慢できない…

声…抑えられない

絶対いつちやう…!

声抑えられない
だろから
布噛ませてあげる

あつっ…さっきより
体温上がってる…!

イヤあ…!

ドキドキするよね
しれないのって

やっぱり
興奮してるんだ



なんか…
無理矢理
犯してみるみたいで
ゾクゾクする…

イカのと
まらない…



あははっ
わかる

ちよつと罪悪感
あるよね

終わらない…



こんなに
感じてらんだよ

でも



気絶しちゃった？

あれ？
お姉さん…

ぼんぼんぼんぼん



起きてよ

ちよっと
猿轡外して
あげて



ゆる…して…

たすけて…

こわいよお…

も…お…
いけない…



そうやって
懇願してるの
たまらないなあ…



安心して
イキまくって
いいよ

おしりも
おまんこも...

よわいとこは
やっぱり

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

おっぱい
揺れてる...!!



乳首は
硬いのに

柔らかい...

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん

ぽんぽん



オレも…
速くするからね

まだ…



いきっぱなしで
中が…キツすぎッ…!



我慢できない
もういいよね…
出すよ!



一番奥に
出すよ!!

きもちい…







リーダー達
帰ってきたら
お姉さんのこと

一緒にたくさん
可愛がってくれるよ

…何度も何度も
数え切れない
くらい…

ね？帰ろ？

くた…



かえり…ます…



それじゃ
荷物持って
くるから

ニヤ

糸使って
帰ろうね



…バレなかった？

こっちに
来てた人達に

ああ
荷物はあるのに
人影がないから
って警戒して
近寄って
こなかったよ

そっか…
よかった



……お姉ちゃんももう終わり？って聞いてたね

ね！あんなにイヤイヤ言ってたのに

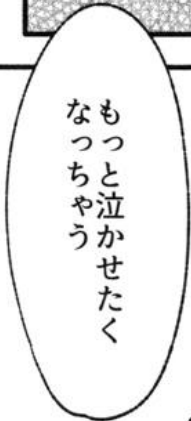
惚けてて本音出ちゃったのかな



あの媚薬の効果は30分くらいってリダー言ってたよね

……でもお姉ちゃんはまだまだ効いてるって思ってるよきつと

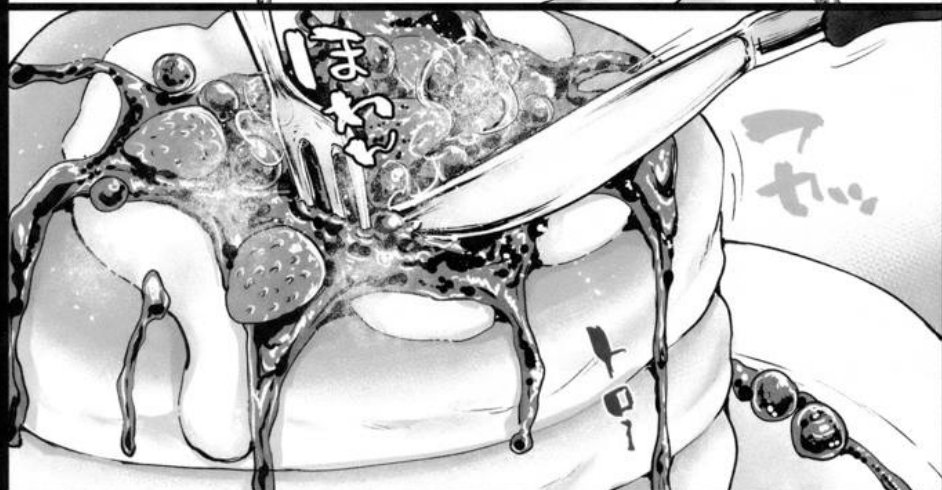
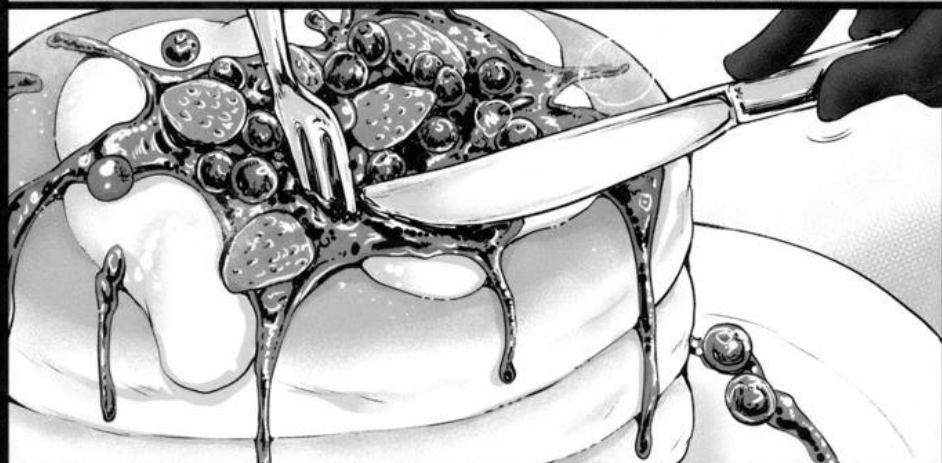
素直で可愛いなあ……

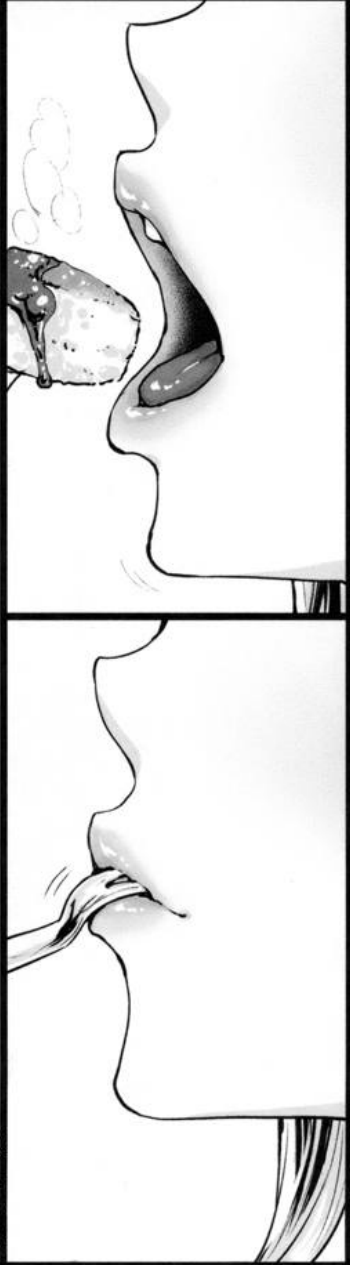


もっと泣かせたくなっちゃう



はじめての
せかいじゅ
EXTRA
LOVE
POTION





ごちそうさまでした!



発行
風のごとく！

著者
風吹ぼに

発行日
2018.06.17

印刷
サンゲループ

WEB
<http://lkwin.tumblr.com/>

MAIL
buchi_koneko@yahoo.co.jp

18歳未満の購読禁止
無断複写、転載、アップロード厳禁



はじめての
せかいじゅ
EXTRA
LOVE
POTION

ADULT ONLY
R-18

EXTRA LOVE POTION

夢を抱き踏み入れた樹海で
彼女は信じた仲間に見つめられた。
敏感過ぎる身体は処女にも関わらず、
触れる度に愛液を滴らせ、乱暴な挿入でも
機度なく絶頂し、果ててしまう。

それを機に、彼女は新たな仕事を与えられた。

【ギルドの性奴隷関係】

彼女に想いを寄せる純粋な少年さえも、
男達は、羞恥を与え心を飽む性具へと変えた。
終わらぬ競争で開発された淫らな肉体は
ついに快楽を受け入れ始めていた――

迷宮へ採取に赴いたウォーロックと少年達。
好物に媚薬を感じられ、野外で柔らかな白い身体を晒し
発情した身体は弄ばれる。

そんな彼女達の耳に届いた、
他の冒険者の声。

見つけられぬ一心で蔑みへと陥れるが、
それは少年達による、終わらぬ強制絶頂の始まりだった。

夢を抱き踏み入れた樹海で
彼女は信じた仲間に犯された。
敏感過ぎる肢体は処女にも関わらず、
触れる度に愛液を滴らせ、乱暴な挿入でも
幾度となく絶頂し、果ててしまう。

それを境に、彼女は新たな仕事を与えられた。

【ギルドの性欲処理係】

彼女に想いを寄せる純粋な少年さえも、
男達は、羞恥を与え心を蝕む性具へと変えた。
終わらぬ陵辱で開発された淫らな肉体は
ついに快楽を受け入れ始めていた――

迷宮へ採取に赴いたウォーロックと少年達。
好物に媚薬を盛られ、野外で柔らかな白い肢体を晒し
発情した身体は弄ばれる。
そんな彼女達の耳に届いた、
他の冒険者の声。

見つけたりたくない一心で茂みへと隠れるが、
それは少年達による、終わりなき強制絶頂の始まりだった…。

